



日本血管外科学会

Japanese Society for Vascular Surgery

日本血管外科学会 第7回血管内治療ワークショップ

2023年11月25日（土）～26日（日）

会場：ジョンソン・エンド・ジョンソン インスティテュート東京

アンケート調査結果

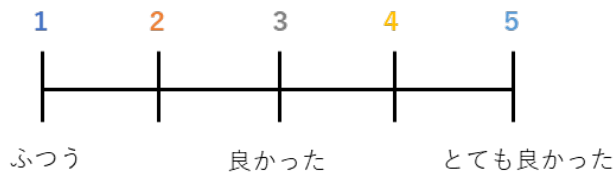
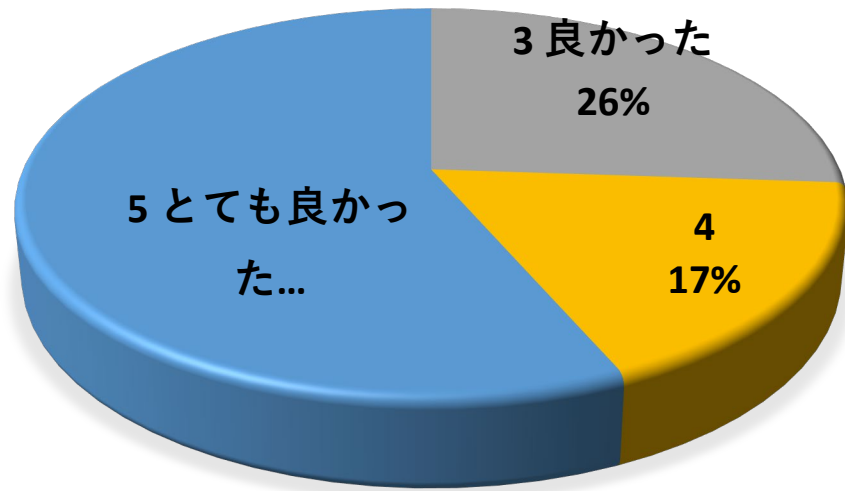
今後、更に充実したワークショップ運営の為に参加者アンケートを実施。答えやすいように回答は基本的に1～5の5段階評価。
またコメント欄は自由記述とした。

	11月25日	11月26日
参加者	23名	22名
アンケート回収	23名（100%）	22名（100%）

【1】各項目講演内容についての満足度を5段階評価で○をつけてください。

1日目レクチャー

◆Lunch Time Session 「SFA治療におけるDrug Eluting Technologies (DET) の現状」 「SFA治療におけるDrug Eluting Stent (DES) の現状」

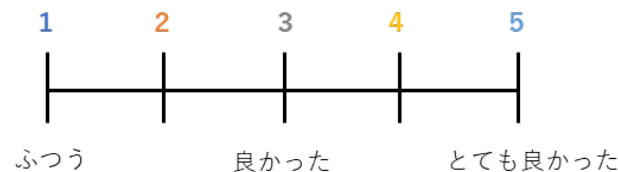
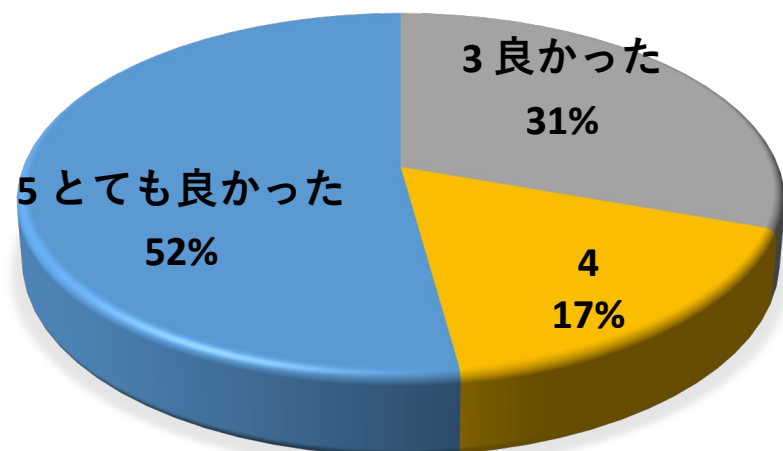


【参加者からのコメント】

- ・ 分かりやすかったです。
- ・ 多くのstudy結果を踏まえてDESの適応を知れてよかった。
- ・ 自施設での使用がないですが、今後使おうと思いました。SFAにはものは入れない方針でしたので、勉強になりました。
- ・ DESのエビデンスが体系的にまとめられていてわかりやすかったです。

「SFA治療におけるDrug Coated Balloon（DCB）の現状」

【参加者からのコメント】

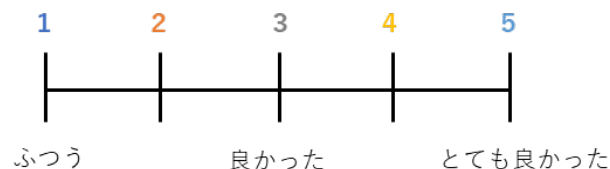
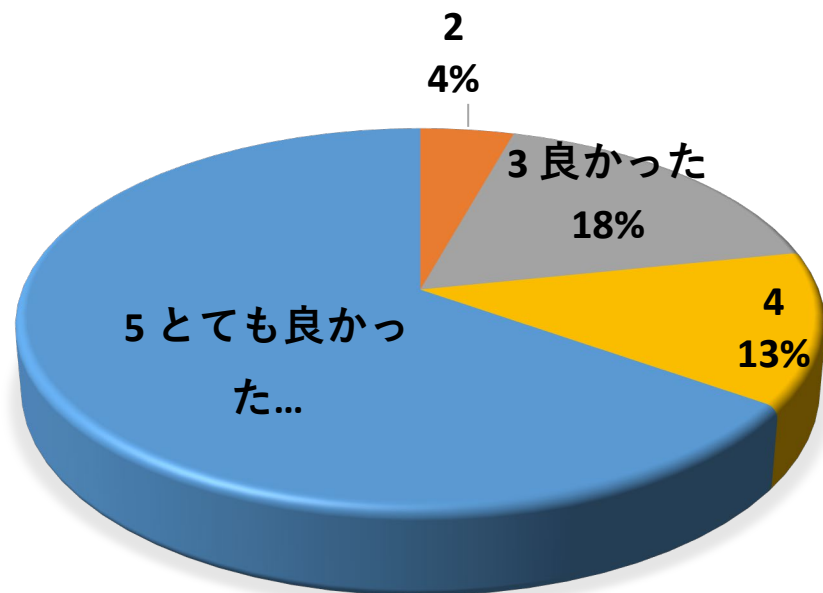


- ・ 質問に答えて頂き、ありがとうございます。
- ・ 施設でのDCB使い方を示してくださり勉強になった。
- ・ DCBを今後も利用しようと思いましたが、好適応ではない場合にはステントも検討しようと思いました。インパクトとレンジャーの使い分けを意識するようにします。
- ・ エビデンスがまとめられていてわかりやすかったです。

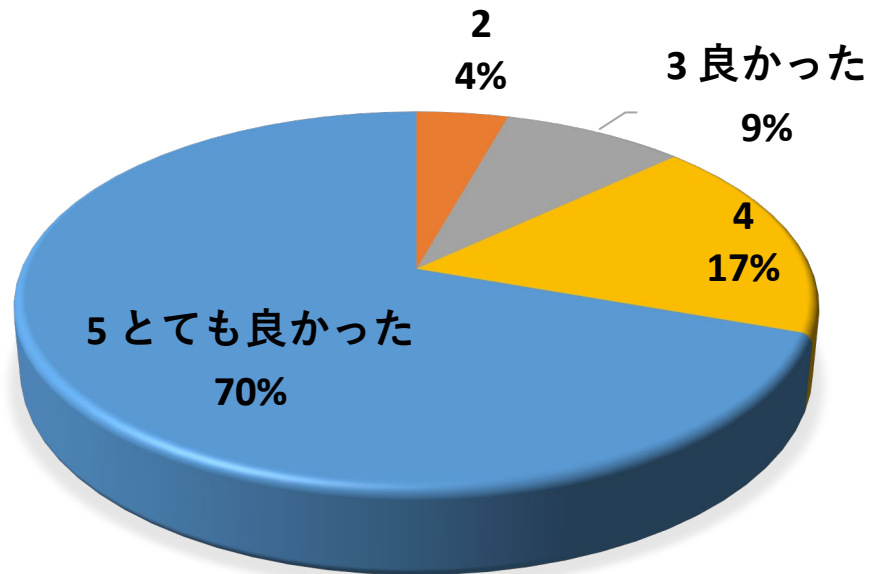
講義①下肢血管内治療の現状と適応（ガイドラインなど）

【参加者からのコメント】

- ・ガイドラインの変遷について系統的に学べてよかった。
- ・ガイドラインではやはりCLTIはまだ介入法はグレーなので自施設での経過をまとめてみようと思います。ガイドラインで自分の認識よりもEVTのウェイトが大きかったです。
- ・とてもスライド見やすく、内容もよく、スライド作りの勉強にもなりました。

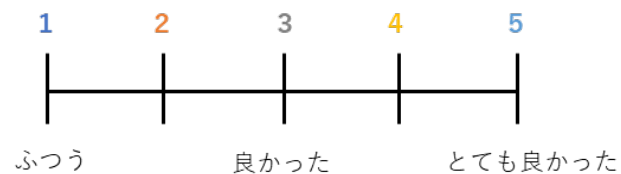


講義②血管内治療に必要な血管造影の基本（各種穿刺アプローチ法）



【参加者からのコメント】

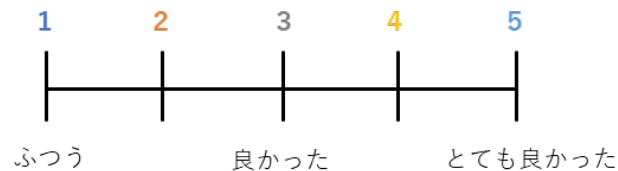
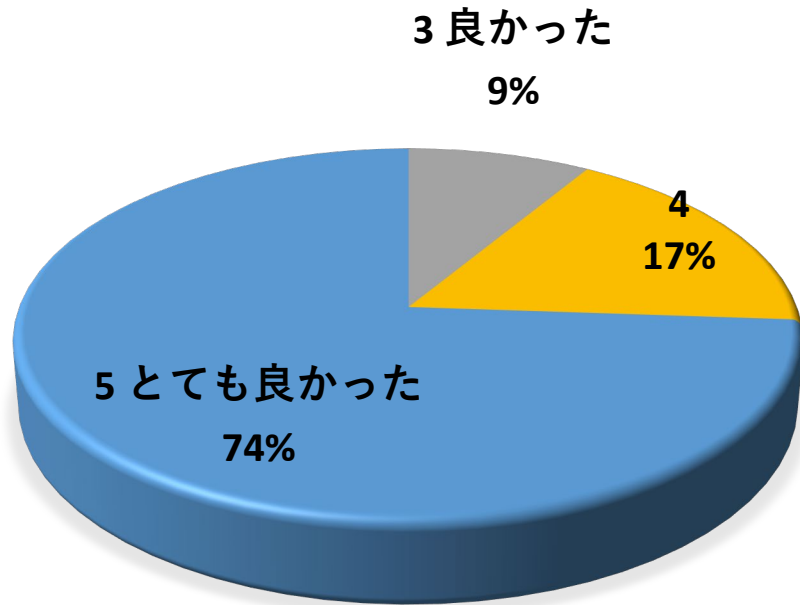
- ・ 止血デバイスのお話も何処かのセッションで欲しかった。
- ・ 血管内治療の歴史も知ることができて興味深かった。
- ・ 合併症の写真が載せられていて勉強になりました。
- ・ 手の被曝に気をつけます。
- ・ 被曝に対してルーズなので気をつけます。
- ・ 被曝が思ったよりもしていました。



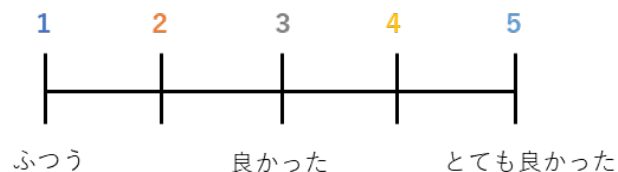
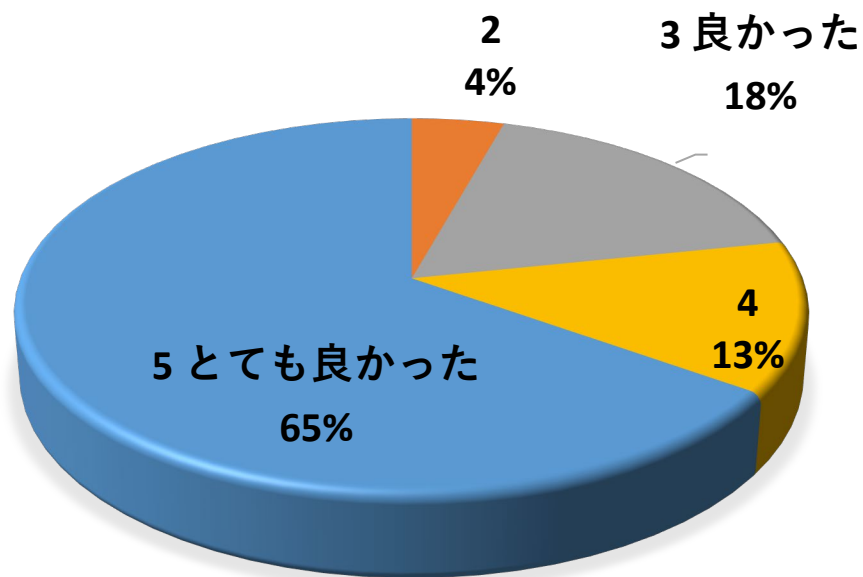
講義③血管内治療に必要なガイドワイヤーとバックアップカテーテルの種類と選択

【参加者からのコメント】

- ・他では教えてもらえない貴重なご講義でした。
- ・カテーテルやGWの選択理由の考え方を分かりやすく体系的にまとめていただいていたいて、とても勉強になりました。
- ・機材の選択に関してしっかり勉強したいと思いました。
- ・マイクロカテーテル・カテーテルのまとめの表を大きいもので欲しいです。
- ・あまりこだわらずにあるデバイスで手技していましたが、きちんとした選択をしようと思います。
- ・ずっと気になってた違いが分かりやすくまとめられていてとても勉強になりました。



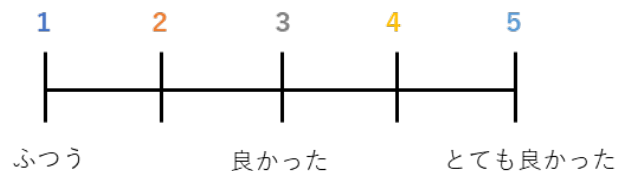
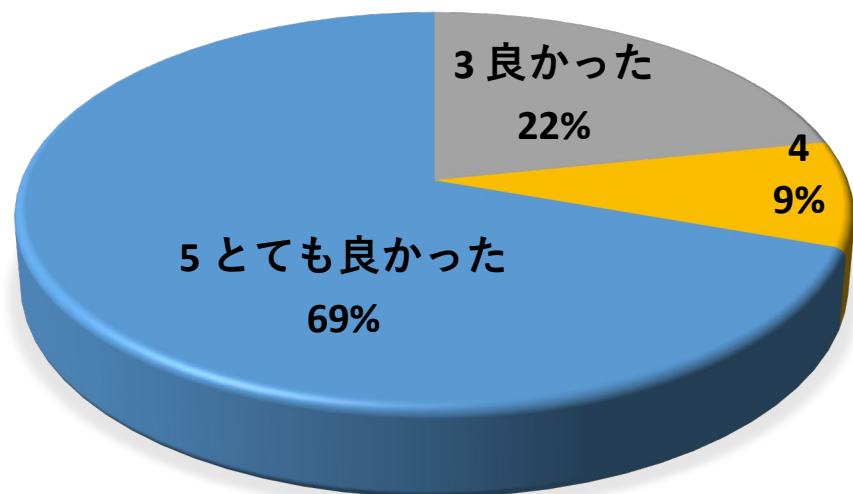
講義④Iliac CTO病変に対する血管内治療とトラブルシューティング



【参加者からのコメント】

- ・ 腸骨領域の治療は改めて気をつけようと思いました。
- ・ 最後の症例提示は衝撃的な内容であり、常にpitfallに落ちないように気をつけて診療したいです。
- ・ 強気のタッチアップにはカバードステントのバックアップは必須だと改めて認識しました。イリアックはトラブルになると大きくなるのがやはり怖い領域だと再認識しました。
- ・ 最後の症例の振り返りがわかりやすかったです。

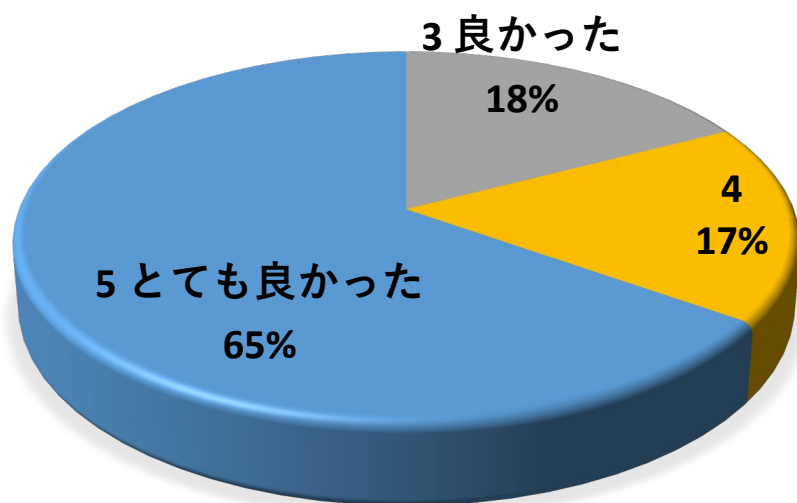
講義⑤SFA CTO病変に対する血管内治療



【参加者からのコメント】

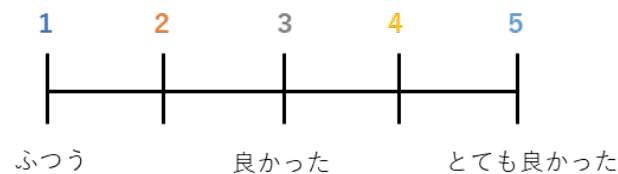
- distal punctureについて初めて勉強しました。今後の診療で是非活かしていきたいです。
- CTOは早々に断念していましたがデバイスを試してもっとクロスをチャレンジしようと思いました。
- CTOはいつもなんとなく分かりづらかったので先生の考え方が学べて良かったです。

講義⑥膝下病変に対する血管内治療

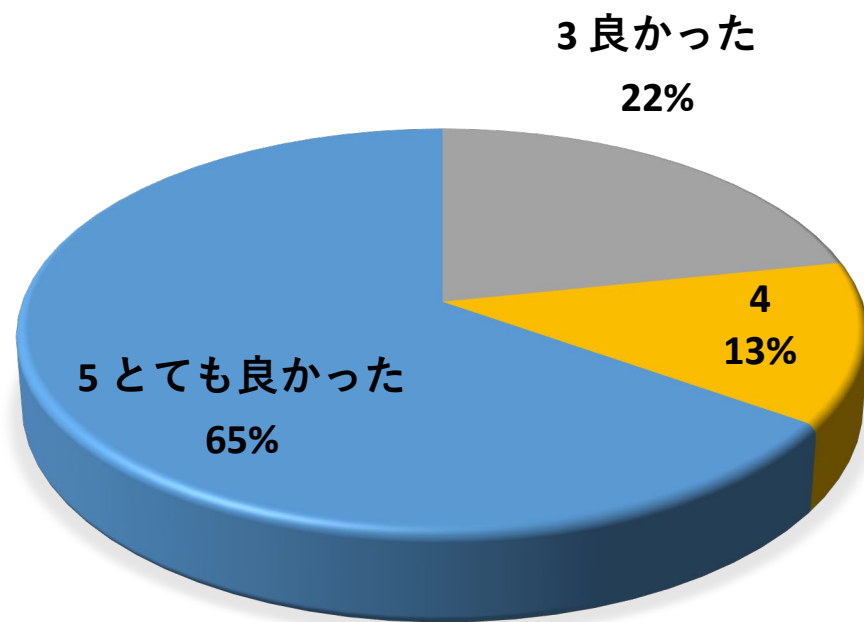


【参加者からのコメント】

- ・ たくさんのwireの挙動が見られてよかった。
- ・ 膝下でも積極的にEVTをトライしようと思いました。
- ・ ガイドワイヤーの選択やディスパンなど具体的で分かりやすかったです。

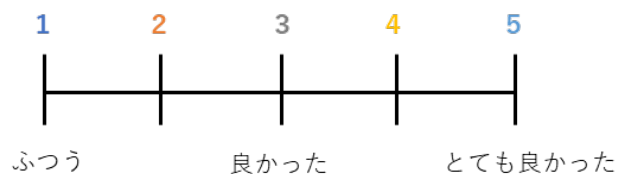


講義⑦Hybrid Endarterectomy and Endovascular therapy

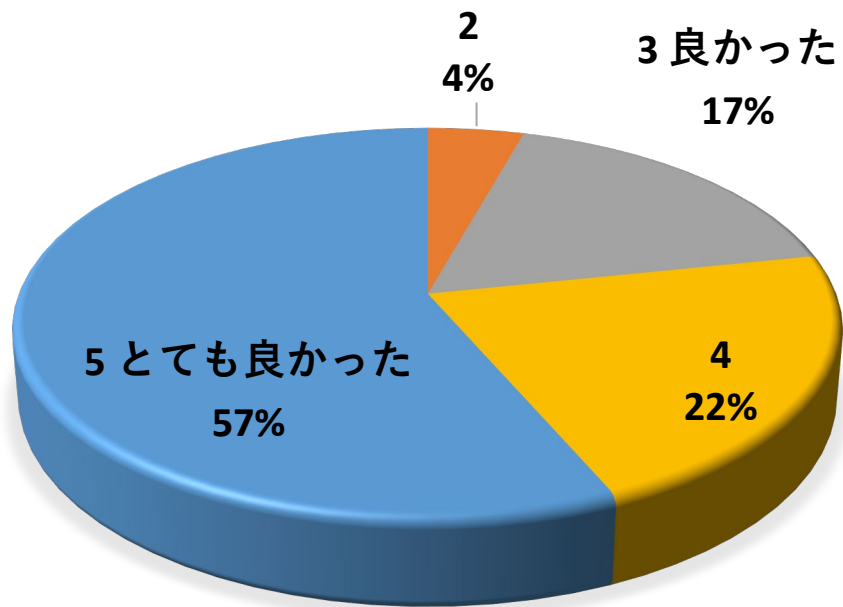


【参加者からのコメント】

- ・血管外科ならではの症例を多く見られて良かった。
- ・多くの症例提示を出していただき勉強になった。
- ・ハイブリッドを自施設でも積極的に行っていて、間違っていないと認識できました。Indigoでの血栓吸引をトライしようと思います。



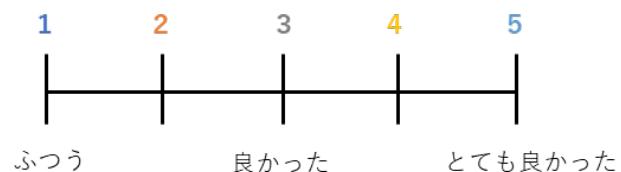
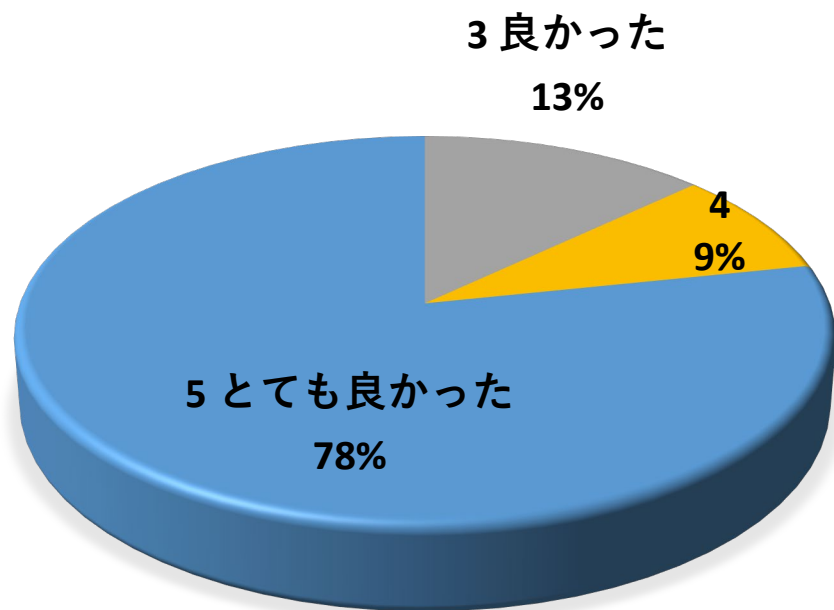
講義⑧Coil 塞栓術の基本と応用



【参加者からのコメント】

- ・放射線科の先生ならではの観点からの話もあって良かった。
- ・コイル選択に関しては今まで考えたことすらなかったので、勉強しようと思います。
- ・様々なtechniqueやコイルの基本的特性を初めて学ぶ機会であったため、とても勉強になりました。
- ・普段のコイリングを体系だって学べてよかったです。瘤内での空中戦のテクニックをさらに、活用しようと思います。

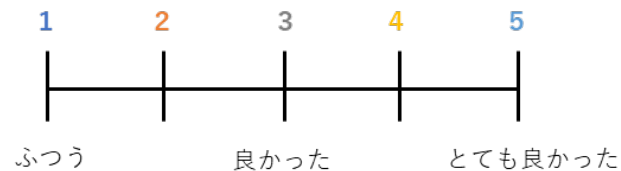
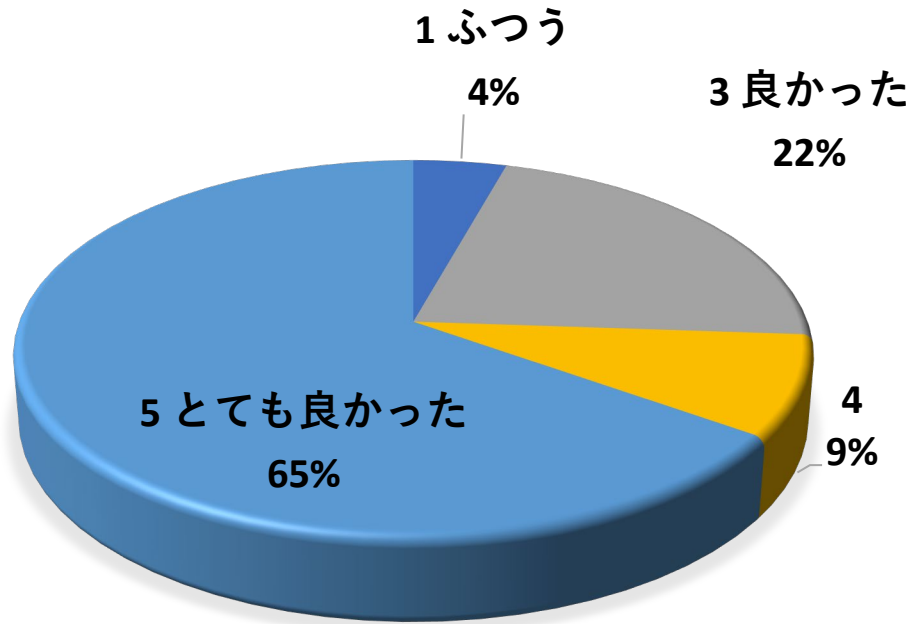
Coffee Break Session



【参加者からのコメント】

- distal puncture は今回勉強したかった事の一つなので大変良かったです。
- distal punctureのtipsが詰まっていた良かったです。
- 遠位穿刺の選択肢に関して勉強になりました。
- distal punctureだけのwork shopがあれば是非参加したい。
- 普段行わないディスタールパンクチャーについて大変勉強になりました。

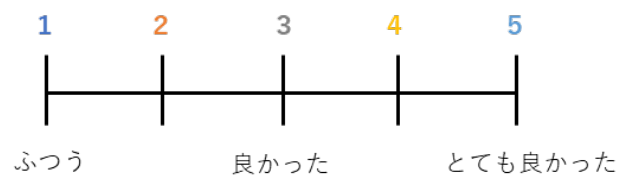
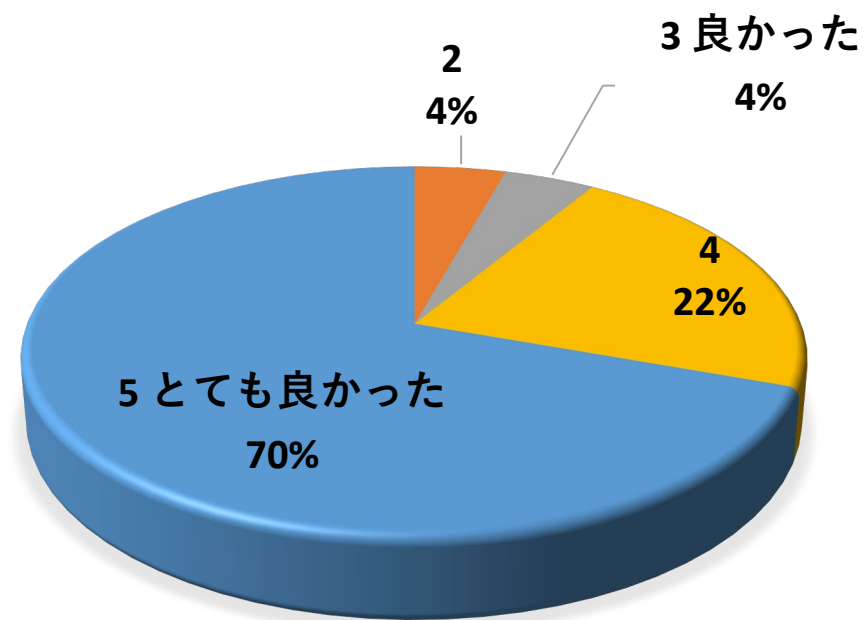
Case Discussion 治療戦略を考える



【参加者からのコメント】

- ・ 難しい症例が多かったが学びも多かった。
- ・ 各施設の方法をプレゼンする時間や治療方針を検討する時間などが短く、考えるまでには至らなかった。2症例とも興味深い症例だったが、時間が足らず消化不良でした。
- ・ CTOでもEVTがサクセスしていて自施設でも努力が必要だと感じました。

ハンズオン（ETOS・Distal puncture）



【参加者からのコメント】

- ・実際に操作できて、時間もしっかりあったのでとてもためになりました。
- ・ハンズオンで実際にやってみると、記憶に残るし、次は臨床でやってみようと思います。
- ・穿刺角度はとても大事な要素だなと改めて勉強になりました。
- ・先端荷重が重たいwireを使用したことがなかったため、操作感や突破性などが体感できてよかった。
- ・普段ディスタールパンクチャーは行わないし、CTOも早期撤退でやっているので良い経験になり今後に活かそうと思いました。

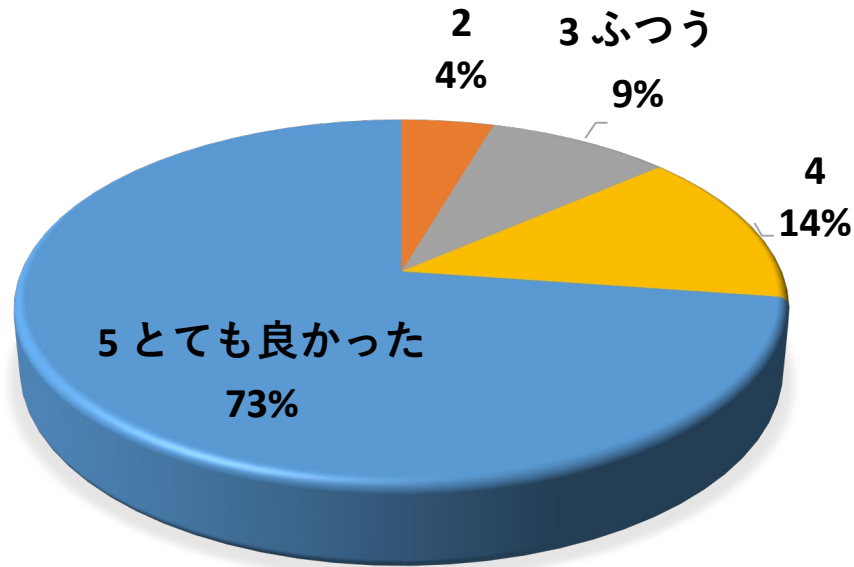
【2】1日目の感想をお聞かせください。

- ・もう少し会場が大きければ良かったなと思いました。
- ・内容の多い充実したプログラムでした。時間の制限がありましたが、各講義で質問をする時間が欲しかったです。
- ・最新のエビデンスを学ぶことが出来ました。
- ・大変勉強になりました
- ・色々なチップスを学ぶことができ、とても勉強になりました。
- ・座学を系統だって整理することができとても勉強になりました
- ・座学中心で非常に学びが多かった。
- ・座学が長くて、疲れました。
- ・自分はEVT初心者で、内容について行くのに必死でしたが、非常に勉強になりました。
- ・講義がなかなか大変でしたが、知識の復習&新たな知見を得るのにとても有用でした。
- ・EVTの基本的事項から手技・発展的事項までとても勉強になった。しかし時間が足らず、その場で理解するのは大変であり、テキストが事前に配布されていれば、準備してworkshopに臨むことができ、より充実したものになったのかなと思いました。
- ・CTOでもワイヤークロスは当たり前の時代だと感じました。EVTのウェイトがかなり大きくなっていることを実感しました。

【1】各項目講演内容についての満足度を5段階評価で○をつけてください。

2日目

◆Lunch Time Session 「EVTにおけるステントグラフト（GORE Viabahn, VBX）」

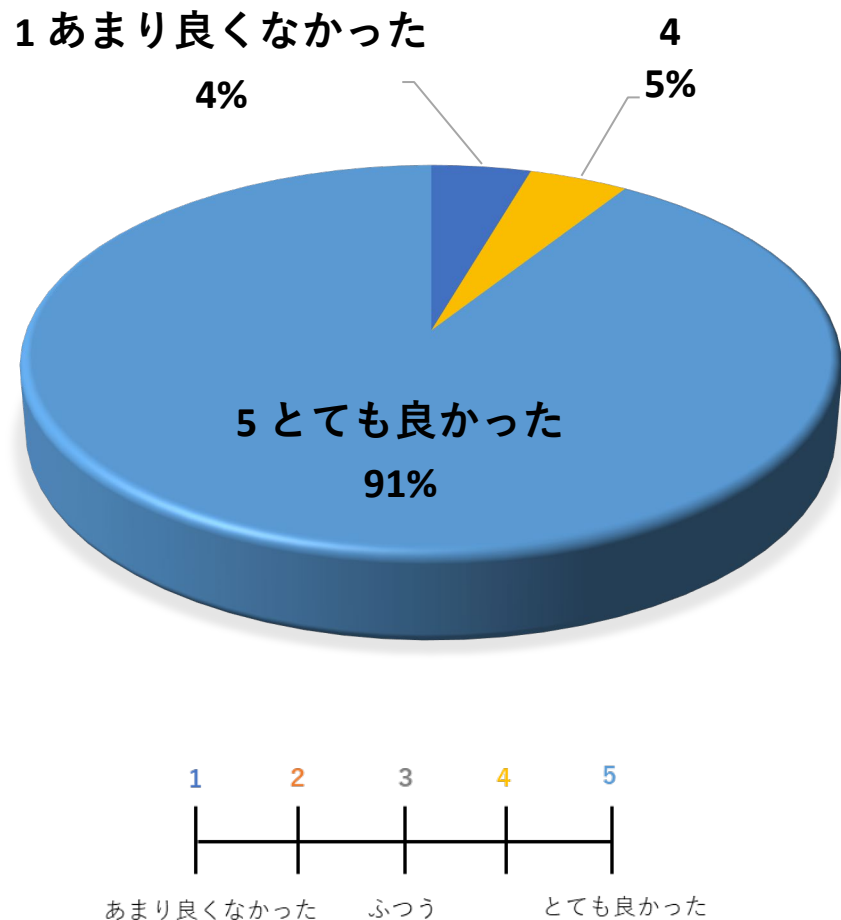


【参加者からのコメント】

- ・ 普段カバードステントを敬遠しがちだったのでもっと利用しようと思いました。
- ・ カバードステント2種に関して良い勉強の機会でした。
- ・ VBXと他社デバイスの拡張によるrecoil・shortningの論文は非常に面白かった。
- ・ ステントグラフトは血栓へいそくななどの可能性もあり、術後のこう血栓療法で悩むことも多い。詳しい話が聞けて良かったです。



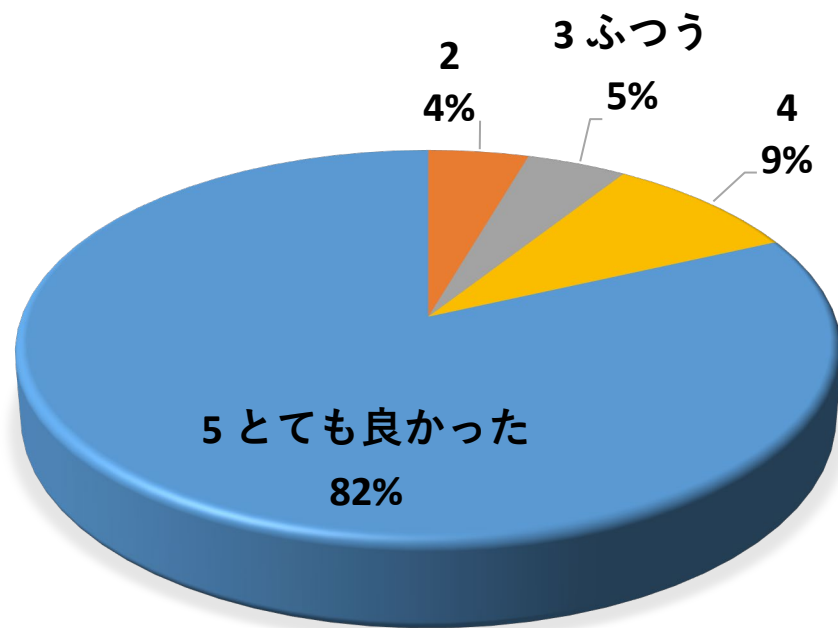
◆ウェットラボの総合評価



【参加者からのコメント】

- ・ 実際のカテーテル操作、治療を体験できて、学びが多かった。
- ・ 臨床に直結する経験が出来た
- ・ キシングバルーンなどAolliacの経験もしてみたかったです。
- ・ 実際に動物の血管にステント留置とコイル塞栓を行わせていただきました。ステント留置はやはり想定と勝手が違うのが分かって良かったです。正直SFAの分枝に留置してしまいました。人じゃなくて良かったです。
- ・ 貴重な経験をありがとうございます。

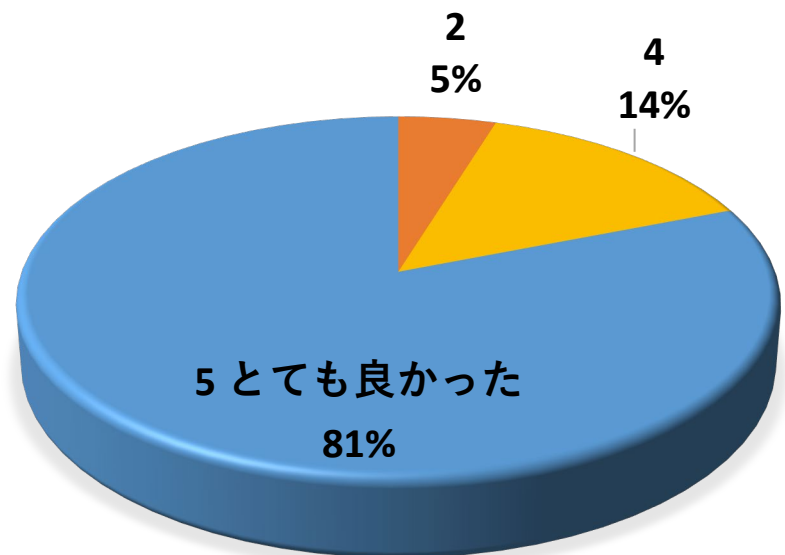
◆ドライラボの総合評価



【参加者からのコメント】

- ・実際にさまざまなデバイスに触ることができて良かった。
- ・時間がなかった。DCBやDESを体験したかった。
- ・多くのデバイスが網羅されていて大変良かった。
- ・普段使わないデバイスにふれることができて勉強になりました。
- ・コイル塞栓、ステント展開、IVUS、IVCフィルター、パークローズなど、様々なモデルを体験させていただき本当に勉強になりました。
- ・各メーカーの人が親切に説明してくださり、勉強になった。

①血管モデルEVE・コイルハンズオン

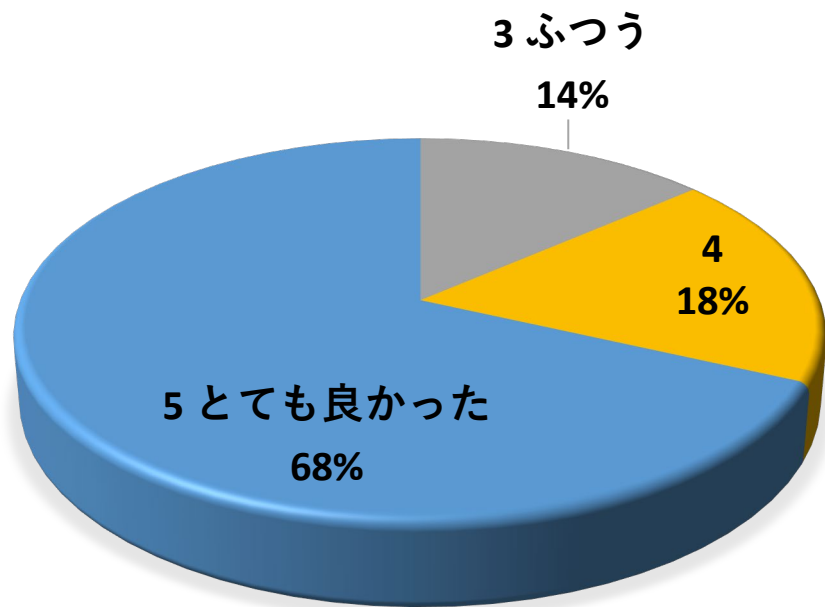


【参加者からのコメント】

- ・デルタコイルのオーバーサイズの対応力が普段使わないので驚きました。
- ・各コイルの特徴や使い分けを学べる場があればよかったなと思います。



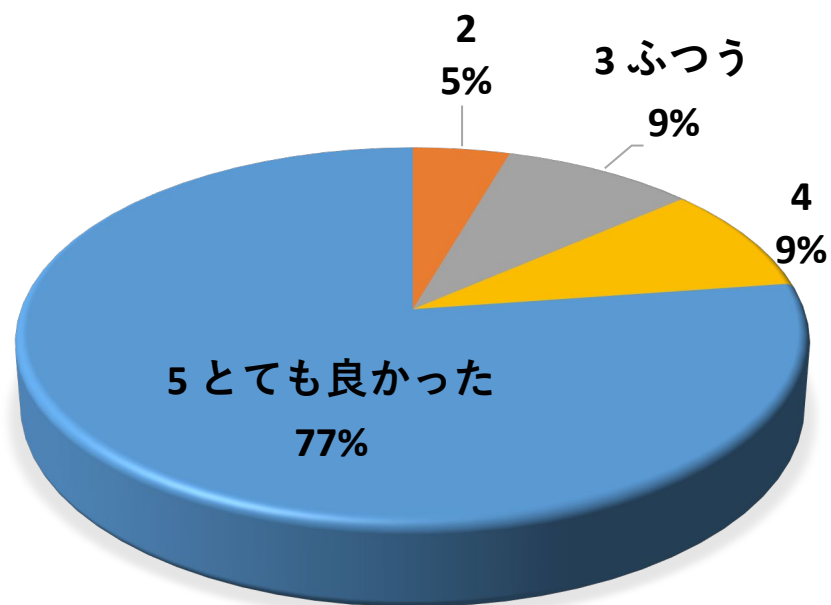
②IVC filterハンズオン



【参加者からのコメント】

- 入れる機会がすっかりなくなったので久々に勉強できて良かったです。
- これまで触れたことのないdeviceであったため勉強になった。

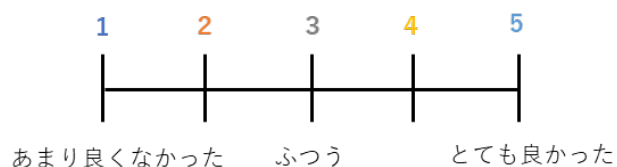
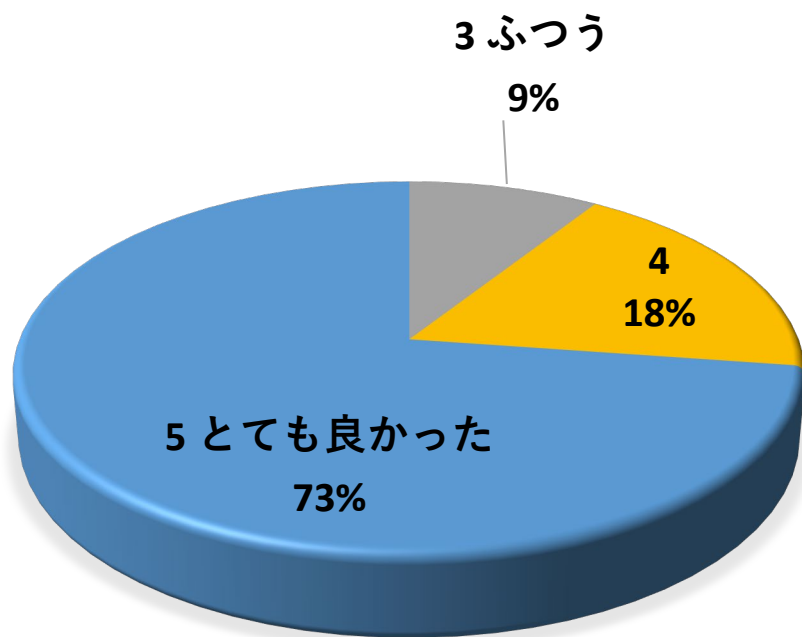
③EVT Simulator / stent



【参加者からのコメント】

- ・最新のシミュレータでウェットでなくてもリアルなトレーニングができました。
- ・SMARTとEpicを直接比較する場であり勉強になりました。

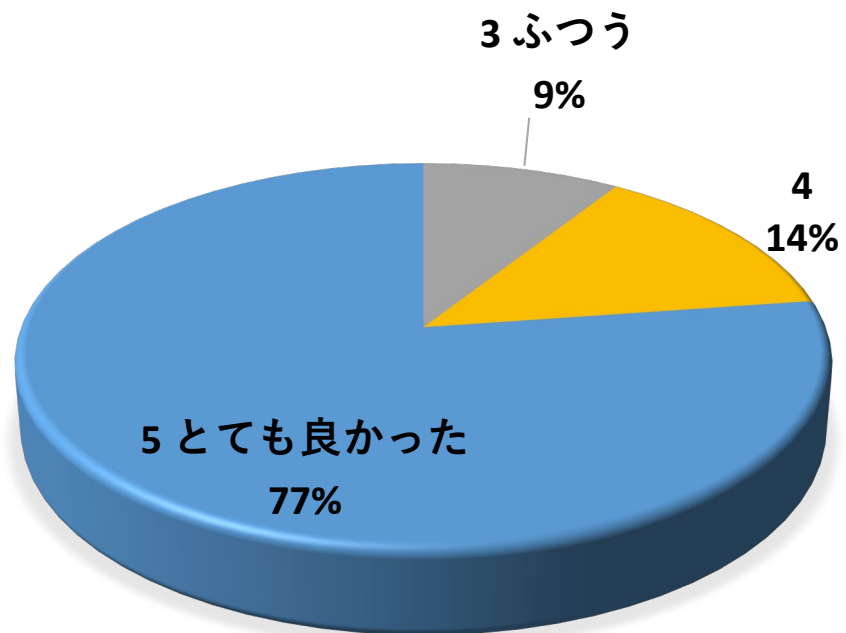
④Supera講義・ハンズオン



【参加者からのコメント】

- ・扱ったことのないステントでしたが、実際に触って質感を感じ、やや留意点の多い操作も試せてよかった。
- ・普段使わないデバイスで勉強になりました。留置は難しいですが良いデバイスで膝窩にもトライしたいです。
- ・ゆっくりdeployする大切さを学びました。

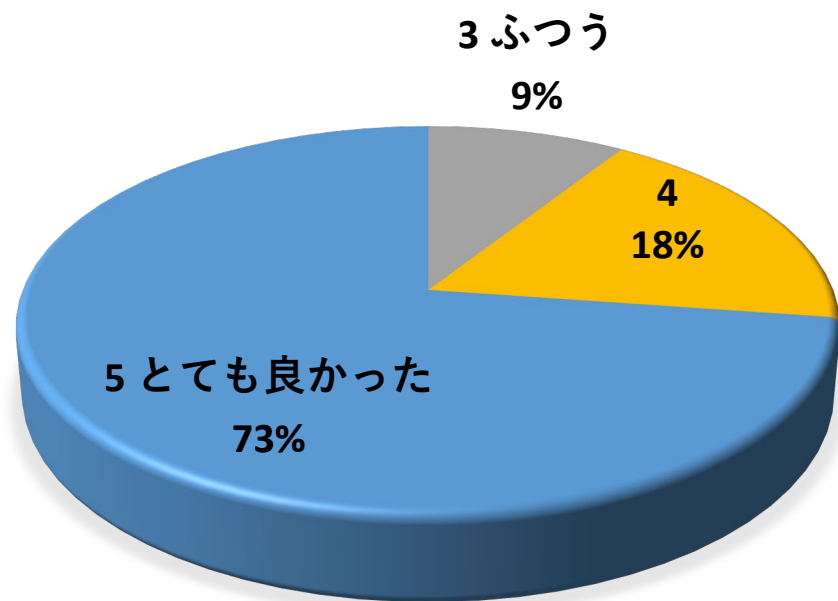
⑤Outback Learning Center



【参加者からのコメント】

- ・サブに入ったら諦めていましたが、希望が持てました。
- ・メーカーの方や金子先生に親切に指導してもらい、自信をもって使用できると思います。

⑥疑似血管モデルバルーン・Wingman

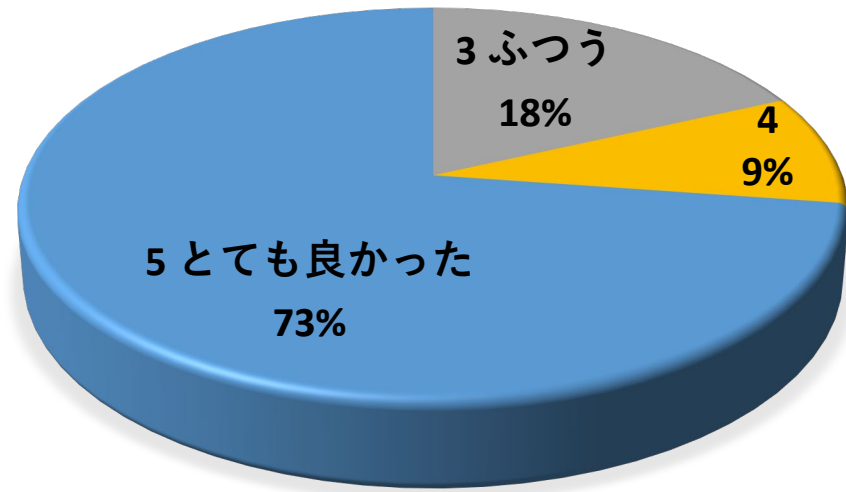


【参加者からのコメント】

- ・ Wingmanを使ってCTOも諦めずに治療してみたいです。
- ・ 普段よく使うdeviceであり、さらに有用となる使い方やpitfalを教えて頂き勉強になりました。



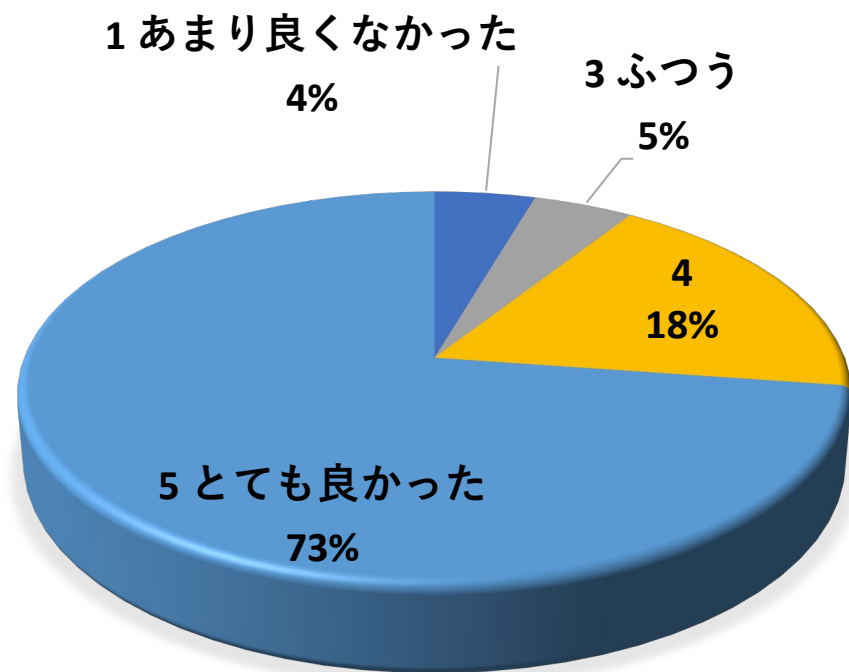
⑦IVUS Learning Center



【参加者からのコメント】

- 血管モデルというわけでもなかったなので手技の目標が掴みづらかった。
- 35のボルケーノのナックルはかなり有用な印象でした。
- 14や18のIVUSは使用したことないので勉強になりました。18のIVUS良いなと思いました。

⑧止血デバイス講義・ハンズオン



【参加者からのコメント】

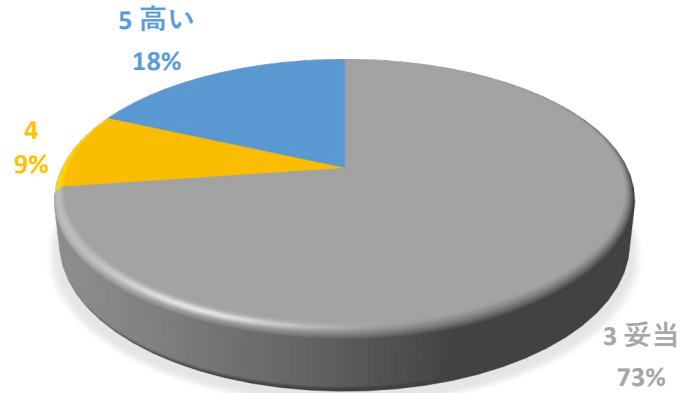
- ・ディスタールのインフローを圧迫で下げなくてよいのは良いデバイスだと思いました。
- ・PerCloseの止血のコツを密に教えてもらい、明日から実践していきたいと思います。

【2】 2日目の感想をお聞かせください。

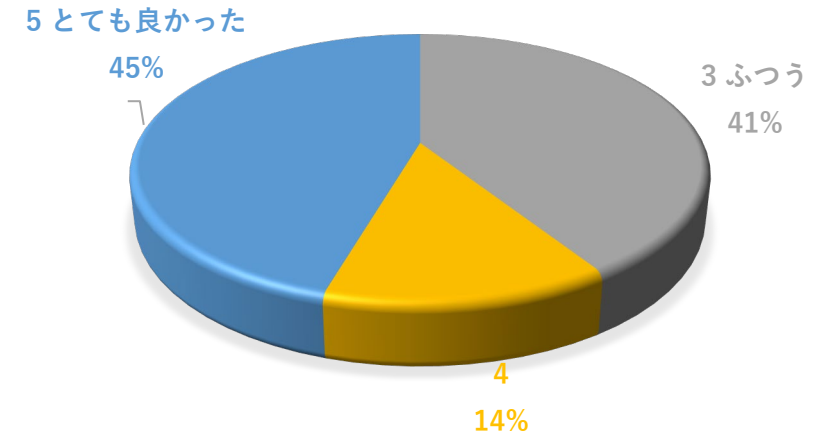
- ・ 普段あまり使わないデバイスや手技の練習ができて良かったです。
- ・ 実際のボタンを用いたカテーテル治療を行なうことができ、非常に貴重になりました。
- ・ ドライラボは、必要な時間がまちまちでした。足りないものもあるし、余るのもありました。しかし全体的にはとても満足しています。
- ・ 実体験とともに勉強することができました。
- ・ 初めて触れるデバイスもあり、非常にためになりました。
個人的には止血デバイスをもう少し触りたかったので、自由時間も欲しいと思いました。
- ・ 豚を使った実習は勉強になりました。
- ・ 実際の手技が学べて大変良かった。
- ・ 時間を短くしてアドバンストコースをお願いします。
- ・ 受講前なら敷居が高く、躊躇していた手技も今後取り入れて行ける気持ちになりました。
dryラボが圧倒的で感動しましたが、wetではdryでは感じない難しさもあり、dryだけでは十分ではないと感じた。臨床はさらに難しいケースもあることを思うと継続して学習しなくてはならないと強く感じました。
- ・ 経験のないデバイスを多く扱う機会が持ててよかったです。
- ・ みなさん親切に分かりやすく説明・指導してもらい、とても感謝しています。
- ・ デバイス選択が1番悩むので各社の方の話を聞けて良かったです。

【3】運営について

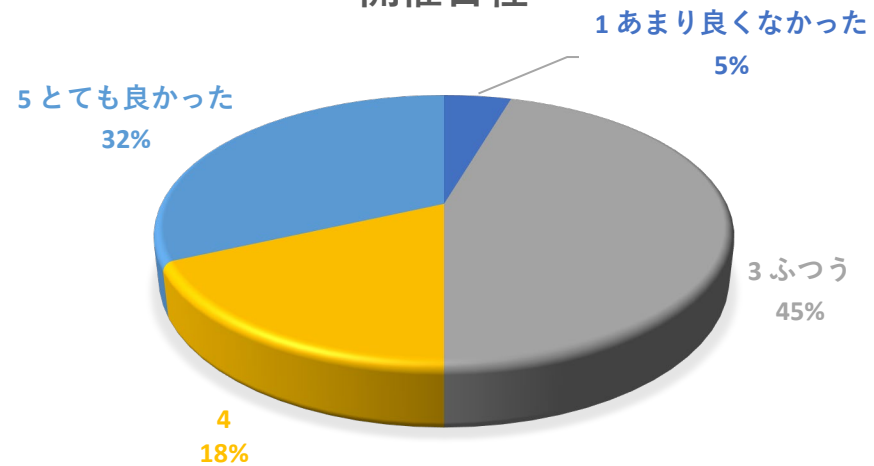
参加費



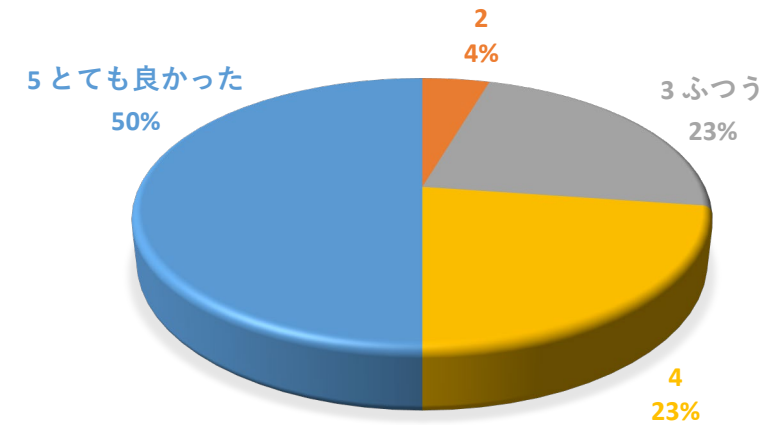
開催期間



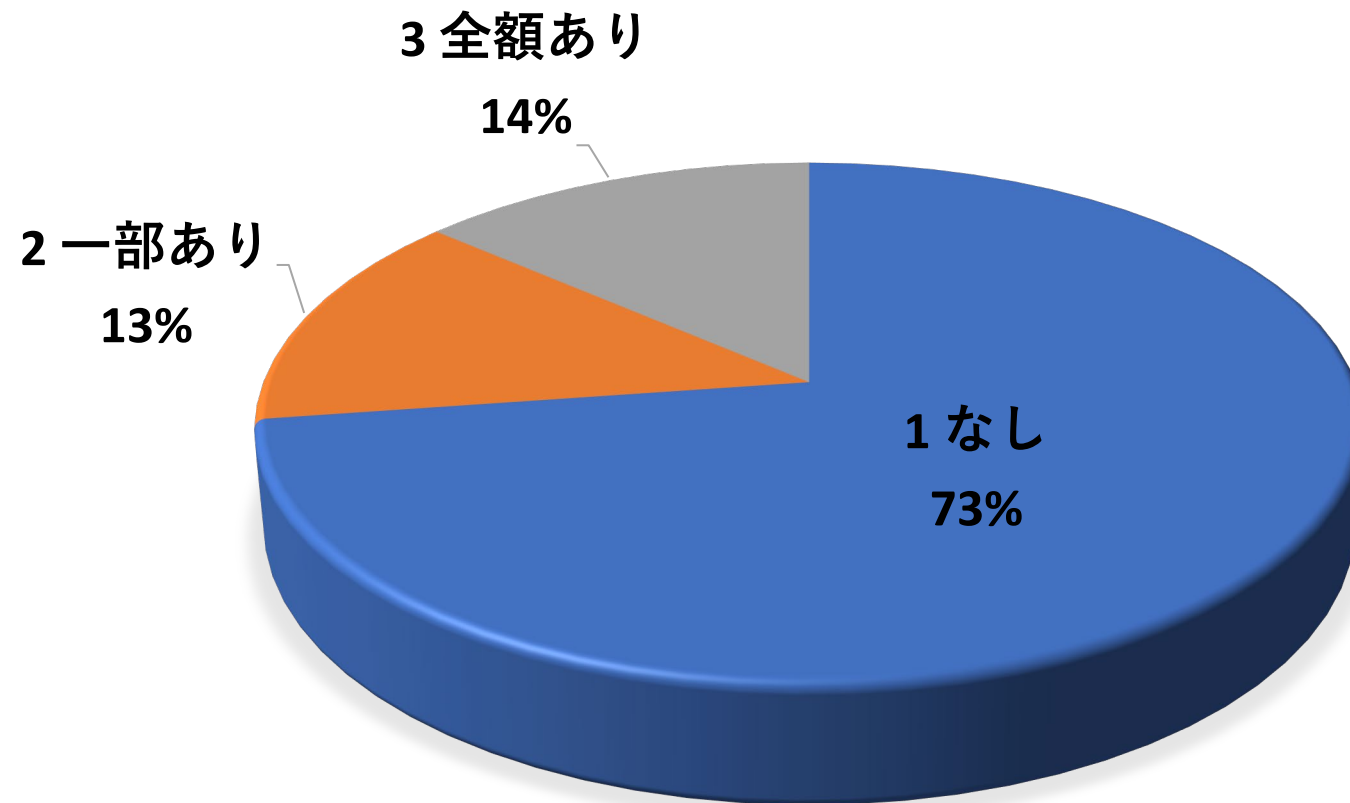
開催日程



申込方法



参加費に際し勤務先からサポートはありましたか？



ご要望ご感想など

- ・お休みのところ、様々な準備をいただき誠にありがとうございました。
これを通じて短期間の国内留学などもしてみたいと思いました。
- ・大変勉強になりました。ありがとうございました。
- ・とても良い会を開いていただき、ありがとうございました。
- ・高すぎます。
- ・初日のレクチャーは大変勉強になりました。ハンズオンでは講師や企業の方から色々なお話が聞けて良かったです。DESやDCBのデバイス体験が出来ればもっと良かったです。充実した2日間でした。講師の先生方ありがとうございました。
- ・普段こんなこと聞いていいのかなあというような質問まで御教授いただけて、非常に貴重な時間でした。
- ・とても勉強になりました。もっと勉強しないとな、というモチベーションが強く湧きました。参加できて良かったです。